

平成 30 年度 福井大学学術協定校への交換留学 派遣学生 募集要項
2019 年春（1 月～3 月）出発分

概要	福井大学では、世界各国の学術交流協定校と授業料相互不徴収による学生交流を行っています。派遣先の大学で、現地学生とともに正規開講科目を受講したり、語学集中コースを受講したりすることにより、専門性や語学力の強化を図ることを目的としています。	
募集大学	本学の学術交流協定校（学生交流の覚書を締結している大学） ※募集大学は年度や学期によって異なります。応募にあたっては、最新の募集大学リストをご確認ください。	
対象	全学部・全学科 ※応募にあたっては、各派遣先大学及び本学が定める派遣要件を満たしている必要があります。 応募前に所属学部や各大学の要件をよくご確認ください。	
派遣期間	1 学期（半年）または 2 学期（1 年）	
授業料	派遣先大学における検定料、入学金及び授業料は不徴収（大学によっては一部徴収する場合もあり） ※留学中も本学に在籍することになりますので、本学へ授業料納入が必須です。 ※語学集中コース等を受講する場合は、別途参加費が必要となる場合があります。	
単位	帰国後の手続きにより、派遣先大学で修得した単位を本学における授業科目の履修により修得したものと して単位認定できる場合があります。	
奨学金	Ⅰ．日本学生支援機構海外留学支援制度奨学金 / Ⅱ．福井大学学生海外派遣支援金	
選考方法	書類審査（必要に応じて面接を実施する場合がある） ※派遣留学生に選ばれた場合は、原則として辞退できません。	
提出書類	<ol style="list-style-type: none"> ① 平成 30 年度 福井大学学術交流協定校交換留学 留学調査票 ② （様式 1）留学申込書 ③ （様式 2）学習計画書 ④ （様式 3）留学に係る経費負担証明書 ⑤ 誓約書 ⑥ 推薦書 ⑦ 学業成績通知表（不可・不受を含むもの） ⑧ 語学能力を証明する書類の写し ⑨ 健康診断書 <p>※指定の様式は、以下の福井大学ホームページからダウンロードが可能です。 https://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/long/information/documents/</p>	
応募方法	申込締切 <u>平成 30 年 8 月 24 日（金）17:00</u> 国際課（大学会館 1F/管理棟 1F 松岡キャンパス学務室内）に提出	
今後のスケジュール	7 月 23 日（月）18:15-19:15 交換留学説明会、応募受付開始 派遣可能大学リスト＜暫定＞発表、 募集大学リスト＜最終版＞発表 ※最終版リストは福井大学ホームページに にアップロードします。 8 月 6 日（月） 8 月 24 日（金）17:00 応募締切 8 月下旬～9 月中旬 学内選考の実施、各委員会等での承認 9 月中旬 学生への推薦可否決定通知 9 月中旬以降 各協定校への出願準備等	<div style="border: 2px dashed black; padding: 10px; text-align: center;"> <p>オンライン受取登録</p>  <p>上記の QR コードを読み取り、募集要項受取り登録をお願いします。</p> </div>

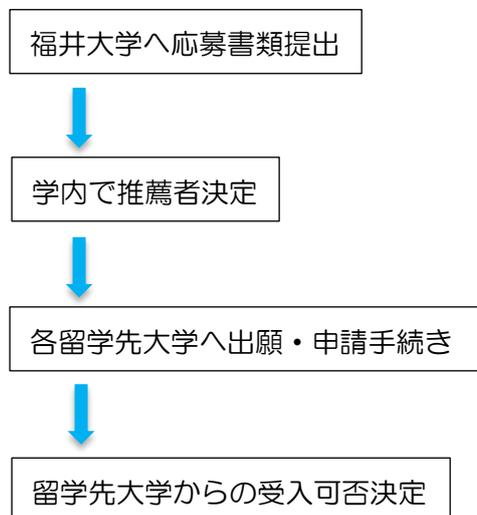
交換留学に関する参考資料

I. 交換留学出発までの流れ

交換留学ができる期間は1学期（半年）または2学期（1年）です。希望及び履修計画等に応じて留学期間を選択できます。留学開始時期は春期と秋期の年2回、派遣先大学の学事暦に合わせて渡航します。また、それぞれの留学開始時期に応じて派遣学生の募集や出発前のオリエンテーションが行われます。

第1期（秋出発）		第2期（春出発）
留学説明会実施、募集開始	12月	
応募締切	1月	
学内選考 学内委員会にて推薦可否の決定	2月	
各大学への出願手続き 奨学金関係書類の提出	2-4月	
各大学からの受入許可通知 ビザ取得	4-6月	
	7月	留学説明会実施、募集開始
留学開始	8-9月	応募締切
↓	9-10月	学内選考 学内委員会にて推薦可否の決定
	10-12月	各大学への出願手続き 奨学金関係書類の提出
	12-2月	各大学からの受入許可通知 ビザ取得
	2-3月	留学開始
帰国、報告書提出		↓
		帰国、報告書提出

～ 交換留学決定までの流れ ～



福井大学での推薦決定後に
各種出願書類を提出し、
留学先大学での受入れ承認された場合、
正式に派遣が決定します。

※ 学内での推薦決定＝留学決定
ではありません！

II. 各種提出物の準備及び注意事項について

<p>【応募時】 福井大学国際課への提出書類 平成 30 年 8 月 24 日（金）まで</p>	<ul style="list-style-type: none"> ■ 平成 30 年度 福井大学学術交流協定校交換留学 留学調査票 ■ 留学申込書 留学希望大学は、第 5 希望まで記入する必要はありません。 記入した希望大学は、留学意思があるものとして審査され、学内での推薦決定後は、原則辞退を受け付けませんので、よく考えた上で記入してください。 ■ 学習計画書 記入内容は自由ですが、以下のような内容を含めてください。 ・希望する大学で学びたいこと ・そのために現在努力していること（授業・課外活動等） ■ 留学に係る経費負担証明書 ■ 誓約書 保証人の自署と押印が必要になります。代筆は認められません。 ■ 推薦書 自分をよく知っている先生（助言教員・指導教員等）に事前に依頼してください。 また、推薦書の作成を依頼する際には、以下の最低限のマナーを心得てください。 1. 依頼する先生に面会の約束を取る。 2. 留学応募にあたって、交換留学応募の推薦人となってもらえるかどうかを伺う。 3. 自身がどのような人物かを示すために必要な書類（推薦書の様式、成績表、語学証明書等）を持参し、授業や課外活動への取り組み状況、留学への意志を伝える。 4. 推薦書の締切・提出先（福井大学国際課）を伝える。 ■ 語学能力を証明する書類の写し 自身の語学能力を証明するスコアが記載されている証明書のコピーを提出してください。留学先によっては、特定の試験による語学能力証明書しか受け付けられない場合がありますので、事前によく確認してください。 ■ 学業成績通知表（不可・不受を含むもの） ■ 健康診断書
<p>【出願時】 派遣先大学への提出書類（参考） 派遣先大学指定の締切日まで</p>	<p>詳細は派遣先大学決定後にお知らせしますが、派遣先大学への出願時やビザ申請時に、指定の申請書に加えて、以下のような書類の提出が必要となる場合があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ■ Personal Statement / Study Plan / Curriculum Vitae (CV) 自己紹介を含む留学計画書や履歴書を英文で提出するよう求められる場合があります。受入可否に関わりますので、提出前には必ず添削を受けてください。 ■ 推薦書（英文） 別途、英文の推薦書の提出を求められる場合があります。上述のとおり、適当な方に推薦書の作成を依頼してください。 ■ 留学先大学での履修希望（所属学部等） 特に単位認定を考えている方は、事前に助言教員や指導教員とよく相談の上、派遣先大学での履修計画を練ってください。 ■ パスポート 残存期限に余裕があるパスポートを準備してください。申請から発行まで時間を要する場合があるので、早めに申請してください。 ■ 銀行残高証明書（英文） 必要な経費は地域により異なりますが、授業料・生活費・その他諸経費を含む留学期間の経費を負担できる財政証明（銀行の残高証明書や給与明細書等）が必要となる場合があります。 ■ 健康診断書（英文） 国や地域によって検査項目は異なりますが、問題なく留学生活を送ることができるよう事前に健康診断書の提出や指定のワクチン接種を求められる場合があります。 ■ 住民票、出生証明書（戸籍謄本・抄本）及びその英語翻訳 自身の国籍や居住地を公的に証明する書類の 1 つです。特に、日本国籍で戸籍謄本等を提出する場合、証明書の発行は日本語のみとなりますので、自身で英語訳を作成するか、適当な翻訳業者に翻訳を依頼する必要があります。

Ⅲ. 派遣先大学について

福井大学から交換留学生として留学ができる大学は、原則として学生交流の覚書のある学術交流協定校のうち、大学間協定校及び自身が所属する学部の部局間協定校です。但し、毎期の募集の有無・募集人数・留学期間は異なりますので、必ず最新の募集情報及び、募集大学リストを確認してください。

【参考】 https://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/long/exchange/partner_universities/
 (福井大学ホームページ 学術交流協定校一覧 / QR コードを読み込むと上記リンク先にアクセスすることができます。)



Ⅳ. 派遣要件（学業成績・語学能力等）について

交換留学生として推薦されるためには、各留学先大学及び福井大学が定める要件を満たしている必要があります。入学後から直近までの累積学業成績や、英語能力をはじめとする語学能力試験の証明書の提出を求められることがあります（出願校により異なりますのでよく要件を確認してください）。受験会場や受験日は限られていますので、長期的な受験計画を立ててください。

福井大学の学術交流協定校は、英語圏に留まらず世界中に広がっています。英語能力試験以外でも派遣先によっては、現地語の学習歴の有無や日常会話能力が必要となる場合があります。

テスト名	特徴
TOEFL iBT	TOEFL iBT (Test of English as a Foreign Language internet-Based Test)は、米国で開発された英語力判断テストで、試験会場でインターネットを通して行われる。Reading, Listening, Speaking, Writing の4つのセクションに分かれ、所要時間は計4時間半程度。主にアメリカやカナダの大学に留学する際に必要になる。 CIEE(国際教育交流協議会) http://www.cieej.or.jp/toefl/index.html
TOEFL ITP	TOEFL ITP は、TOEFL PBT のテスト問題を受け継いで作成されているペーパーベース（マークシート多肢選択式）のテスト。TOEFL PBT のスコアとの相関性・妥当性が高いテストであるため、語学能力を示すスコアとして公式に扱われる場合も多い。TOEFL iBT は受験日や受験地が限られ、受験費用が高いのに対し、TOEFL ITP の団体受験であれば受験日や受験地を問わず、費用も6分の1で受けられる（福井大学でも年に複数回実施しています）。 CIEE(国際教育交流協議会) http://www.cieej.or.jp/toefl/itp/index.html
IELTS	IELTS (International English Language Testing System)は、英国で開発された英語力判断テストで、Listening, Reading, Writing, Speaking の4つのセクションに分かれている。留学に際しては、アカデミックモジュールの受験が必要。TOEFL iBT と異なり記述式のテスト。主にイギリスやオーストラリアの大学で用いられている。 日本英語検定協会 http://www.eiken.or.jp/ielts/index.html
その他外国語能力試験（例）	韓国語：韓国語能力試験（TOPIK） http://www.kref.or.jp/examination 中国語：中国語検定（HSK） http://www.hskj.jp/ タイ語：実用タイ語検定試験 http://www.thaigokentei.com/ ドイツ語：ドイツ語検定試験 https://www.goethe.de/ins/jp/ja/sta/tok/prf.html イタリア語：イタリア語検定試験 http://www.il-centro.net/wpd/イタリア語検定-plida/

※TOEIC スコアは日本国外で、語学証明として有効ではない場合がありますのでご注意ください。

V. 危機管理について

海外滞在者は、「自分の身は自分で守る」という意識が重要です。昨今の世界情勢を踏まえると、爆破テロ、無差別殺傷事件や人々の生活に甚大な被害を与える自然災害が頻発し、海外渡航の際は、自身の安全確保により一層注力しなければなりません。

福井大学が実施する海外研修プログラム参加者は、海外渡航・滞在中の事故や病気に備え、本学が指定する海外旅行保険への加入が必須です（クレジットカードに付帯している簡易な保険では不十分です）。また、留学先の国や大学が現地での保険加入を義務付けている場合もあります。その場合は、補償内容が異なりますので、必要に応じて両方の保険に加入してもらいます。

【危機管理に関する情報の参照先】



(外務省 海外安全ホームページ)

<http://www.anzen.mofa.go.jp/>



(外務省 たびレジ)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

海外旅行や海外出張する方が、旅行日程・滞在先・連絡先などを登録すると、滞在先の最新の海外安全情報や緊急事態発生時の連絡メール、また、いざという時の緊急連絡などが受け取れるシステムです。



(外務省 たびレジ)

<https://www.ezairyu.mofa.go.jp/RRnet/>

旅券法に定められた届で、日本国籍を持つ者が3ヶ月以上日本国外に滞在する場合に、管轄の在外公館（大使館や総領事館）に提出しなければならない書類（渡航後にオンライン申請）です。



(外務省 海外安全アプリ)

http://www.anzen.mofa.go.jp/c_info/oshirase_kaian_app.html

海外在住者や海外旅行・出張中の方に、安全に係る情報をお届けすることを目的としたアプリです。



(外務省 虎の巻)

http://www.anzen.mofa.go.jp/pamph/pdf/tora_2018.pdf

虎の巻には海外旅行での基礎知識や事前に準備しておくべきことなど安全のための基礎知識を紹介しているほか、詐欺や強盗、宗教や習慣の違いによるトラブルの事例とその対策、テロや誘拐の脅威についても触れています。

VI. 交換留学にかかる費用

交換留学先の大学では、入学金や授業料の支払いは不要ですが、以下の費用は自己負担になります。

項目	おおよその費用
ビザ申請に関わる費用	<p><u>自己手配してください。</u> 申請費用：数万円（例：アメリカ学生ビザ US\$360） ※申請費用や申請方法は頻繁に変更になります。 ※申請にあたっては、各国のビザセンターに出向く必要があります。</p>
往復航空運賃	<p><u>自己手配してください。</u> 欧米の場合：15～20万円程度。アジアの場合：3～10万円程度。</p>
海外旅行（留学）保険	<p><u>福井大学が指定する海外旅行保険への加入を義務付けています。</u> 加入料の目安：17万円～/約1年間 ※加入期間や加入プランによって費用は異なります。</p>
滞在国/地域の健康保険 留学先大学が指定する キャンパス保険等	<p><u>留学先の大学及び、滞在国/地域が加入を義務付ける場合があります。</u> 補償内容が異なるため、原則上記の海外旅行（留学）保険と併せて加入していただきます。 例：ドイツ・ハンブルク大学では、公的医療保険（約90ユーロ/月）への加入を必須としています。米国・クレムソン大学ではキャンパス保険（約2500ドル/年）への加入を必須としています。</p>
学生寮費・宿舍費	<p>大学の寮に入寮できる場合も多く、自己手配より安価に滞在できます。 費用は各大学により異なります。</p>
食費	<p>国・地域、現地での活動内容によって異なります。自身の希望に合わせてミールプラン（寮食）を追加できる大学もあります。</p>
生活費（食費、交通費、雑費、 娯楽等）×滞在月数	<p>国/地域、現地での活動内容によって異なります。</p>

（補足）地域・期間ごとの留学費用の目安

短期留学	<p>アジア圏（2週間）：約10～15万円 欧米圏（1ヶ月）：約40～50万円 ※授業料・宿泊費・食費・交通費等を含む</p>
中・長期留学	<p>アジア圏（1年）：約80～120万円 欧米圏（1年）：約150～200万円 ※寮費他の生活費を含む。授業料が発生する場合は別途要。</p>

Ⅶ. 奨学金

条件を満たす方については、各種奨学金を受給できる可能性があります。ⅠとⅡは併給できません。

Ⅰ. 日本学生支援機構海外留学支援制度奨学金 (JASSO)

対 象：本学の学術交流協定校等へ交換留学をする者

条 件：以下の全ての条件を満たしていること

- ・日本国籍を有する者または日本への永住が許可されている者
- ・前年度の成績評価係数（総登録単位数）が 2.3/3.0 以上
- ・語学力が原則 TOEIC400 点以上、または前年度の英語の成績が 2.3/3.0 以上
- ・家計基準（原則、日本学生支援機構第二種奨学金支給基準に準じる）をクリアするもの

支給人数：支給可能人数には上限があるため、選考点上位者より支給を決定する

支 給 額：【甲地域】8 万円／月 （例）アメリカ、ドイツ、イタリア、イギリス

【乙地域】7 万円／月 （例）リトアニア、ルーマニア、カンボジア

インドネシア、韓国、マレーシア、タイ、ベトナム

【丙地域】6 万円／月 （例）台湾、中国、マカオ、ブルネイ

選考時期：学術交流協定校への交換留学が決定した時点で選考

【詳細ページ】https://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/jasso/

Ⅱ. 福井大学学生海外派遣支援金

対 象：本学の学術交流協定校等への交換留学をする者、本学で単位付与がある研修プログラムに参加する者

条 件：以下の全ての条件を満たしていること

- ・学業成績が優秀で人格等に優れている者
- ・平成 30 年度（2018/4/1～2019/3/31）に留学等をする者（予定者を含む）
- ・海外派遣学生を対象とした他の支援（奨学金等）を受ける場合は、5 万円以内の者
- ・本学の海外研修プログラム、交換留学及び本学の単位付与があるプログラムに参加する者
- ・帰国後に、本学の国際交流に協力できる者

支給人数：支給可能人数は予算の範囲内のため、選考による上位者より支給を決定する

支 給 額：留学期間が 3 ヶ月以上 6 ヶ月未満の場合は 1 2 万円、6 ヶ月以上の場合は 15 万円

募集時期：随時募集。渡航を開始する期に各募集要項を入手の上、渡航 1 ヶ月前までに各自が申請すること。

【詳細ページ】https://www.u-fukui.ac.jp/international/study_abroad/shienkin/

上記の奨学金以外にも、福井県や民間企業等が提供する奨学金制度等もあります（アジア人材基金等）。海外留学のための奨学金一般については、日本学生支援機構のウェブサイトを確認し、各自で応募してください。なお、国際課でも情報提供をしています。

【参考】<http://ryugaku.jasso.go.jp/scholarship/>（日本学生支援機構海外留学支援サイト）

Ⅷ. 単位

<教育地域科学／教育／医学／工学部>

福井大学学則第 49 条、大学院学則第 32 条及び福井大学特別聴講派遣学生及び特別聴講学生規程第 7 条に基づき、派遣先大学で修得した単位を本学の授業科目の単位として認定される場合があります。

単位認定には、帰国後、すみやかに所定の手続きが必要であり、申請書の提出を受けてから学内委員会での承認によって認定科目・単位が決定します。各学部専門教育や共通教育等で認定できる科目の条件が異なりますので、単位の認定を希望する学生は、必ず事前及び単位認定承認後に担当する責任教員等（講座主任、学年主任、学科長または助言教員）と相談し、履修計画について適切な指導を受けてください。

また、申請を円滑に行うため、留学中に派遣大学での「成績証明書」、「在学期間証明書」、「講義概要（写し可）」等を準備することをお奨めします。必要書類や手続き等については、教務課（文京キャンパス）または松岡キャンパス学務室（松岡キャンパス）へ事前に相談してください。

<国際地域学部>

国際地域学部生は、交換留学の応募にあたり、学部指定の派遣要件を満たしている必要があります。また、単位認定にあたっては別途、単位認定手続きが必要です。

【単位認定例】

留学先での修得科目	本学での認定科目
German	ドイツ語
Writing Review for Non-Native Speakers	ライティング
Daily Life in the English Speaking World	英語コミュニケーション総合 I
Ethnicity	多文化コミュニケーション

Ⅸ. 留学前・留学中・留学後の支援

留学前：福井大学からの推薦決定後は、各派遣先大学の案内に基づき、個別に出願書類の準備や渡航準備のサポートを行います。

同時に、交換留学者を対象としたオリエンテーションを実施し、国際地域学部生においては、留学セミナー（1単位）の履修が必須です。

留学中：本学教職員及び、学術交流協定校の教職員が連携し、サポートする体制を整えています。

留学後：留学先での経験を最大限に活かすことができるようアドバイスしています。

X. 報告書の提出

留学中は、大学指定の様式による月例報告書の提出、帰国後には帰国報告書の提出をお願いします。過去参加者の報告書は、福井大学ホームページ及び本学オアシスにて常時閲覧が可能です。

◆ その他

交換留学に関するお問い合わせは、国際課までお願いします。

<問合せ先・参加申込書類提出先>

Eメール : studyabroad@ml.u-fukui.ac.jp

文京・敦賀キャンパス：国際課（大学会館 1F）

Tel: 0776-27-8404

松岡キャンパス：国際課（管理棟 1F 松岡キャンパス学務室内）Tel: 0776-61-8849